教　育　研　究　業　績　書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	間野　百子（マノ　モモコ）
最終学歴	東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士後期課程単位取得満期退学
保有学位	修士（教育学）博士（子ども学）
主な職歴	小田原短期大学教授（2014 年 4 月）
専門分野	教育学（教育社会学、社会教育、青少年問題、ボランティア学習、世代間交流）
研究テーマ	課題を抱える子ども・若者支援、対人援助ボランティアの学び、当事者性の獲得
担当授業科目	教育社会学、幼児理解の理論と方法、保育・教育実践演習、卒業研究、 サービス・ラーニング、基礎学力演習Ⅰ
教育研究業績	【論文】 ・「成人教育におけるセルフ・ヘルプ活動の役割―米国の『祖父母の会』に着目して（単著）」（『アメリカ教育学会紀要』第 20 号、2009 年、pp.58-69） ・「米国における祖父母と孫の世代間家族の現状と課題―孫を養育する祖父母支援に焦点をあてて（単著）」（『日本世代間交流学会誌』第 2 号、2012 年、pp.9-17） ・「課題を抱える少年支援ボランティアは活動をどのように体験するか（単著）」（『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』第 32 号、2019 年、pp.17-28） ・「少年支援ボランティアの長期継続を通した援助成果の認識―BBS 会『ともだち活動』体験者の継時的変化に焦点をあてて」（単著）」（『更生保護学研究』日本更生保護学会、第 15 号、2019 年、pp.3-12） ・「課題を抱える少年と BBS(Big Brothers and Sisters) 会ボランティア援助者の相互交流プロセス－複線径路等性アプローチ(TEA Trajectory Equifinality Approach)による分析（単著）」（『小田原短期大学紀要』第 51 号、2021 年、pp.33-44） ・「課題を抱える少年支援におけるボランティア援助者の役割―長期継続者の学びに着目して（単著）」（『小田原短期大学紀要』第 53 号、2023 年、pp.55-71） 【著書】 ・『世代間交流学の創造―無縁社会から多世代間交流型社会の実現のために（共編著）』（あけび書房、2010 年 12 月） ・「ラーニング・ストーリーによる子ども理解の深まり（単著）」（野津直樹・宮川萬寿美編著『保育・教職実践演習―実践力のある保育者を目指して』萌文書林、2023 年） 【その他】 ・生涯学習の学習需要の実態とその長期的変化に関する調査研究報告書」文部科学省国立教育政策研究所生涯学習政策研究部、立田慶裕研究代表（2010～2012年度）国立教育政策研究所　他 【資格】 ・中学校教諭免許一級普通免許・高等学校教諭免許二級普通免許（英語科）
所属学会	日本教育学会、日本社会教育学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、 日本更生保護学会、日本社会福祉学会、日本世代間交流学会　他
主な社会活動	日本世代間交流協会　他